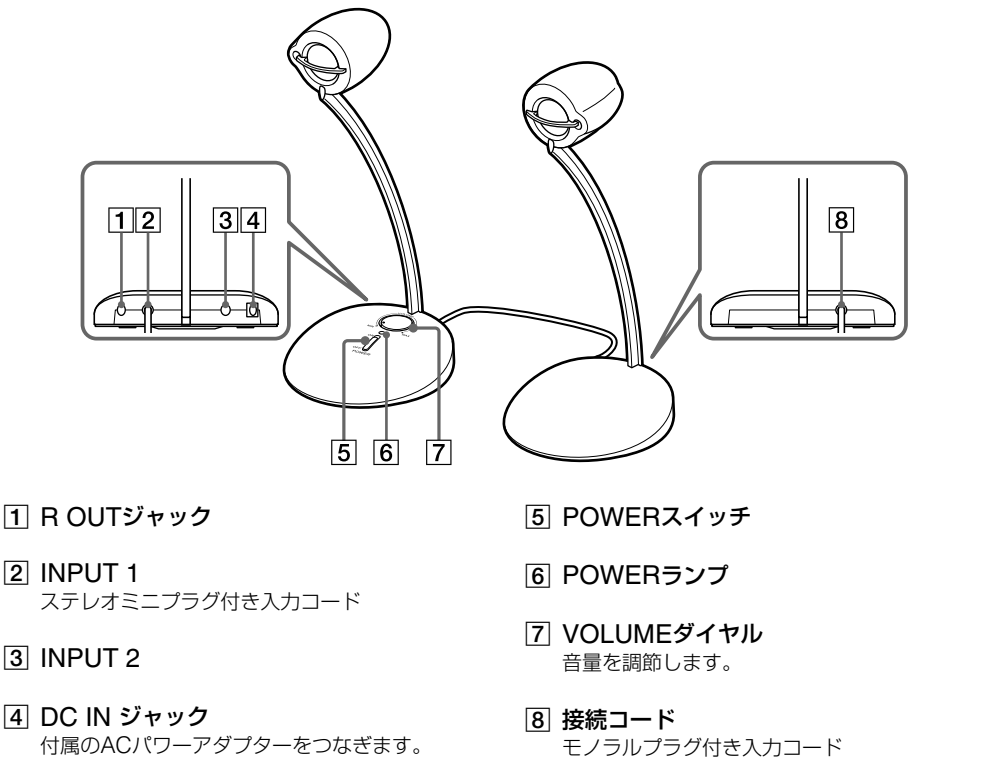


各部のなまえ



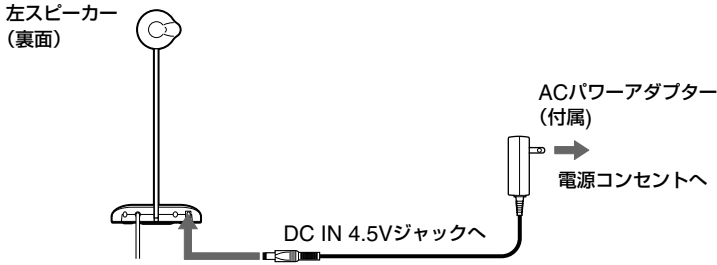
接続

1 ACアダプターを本機に接続する

- ご注意
- この製品には、付属のACアダプター(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。付属以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



- ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、ACアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACアダプターの上に花瓶などの水のいったものを置かないでください。

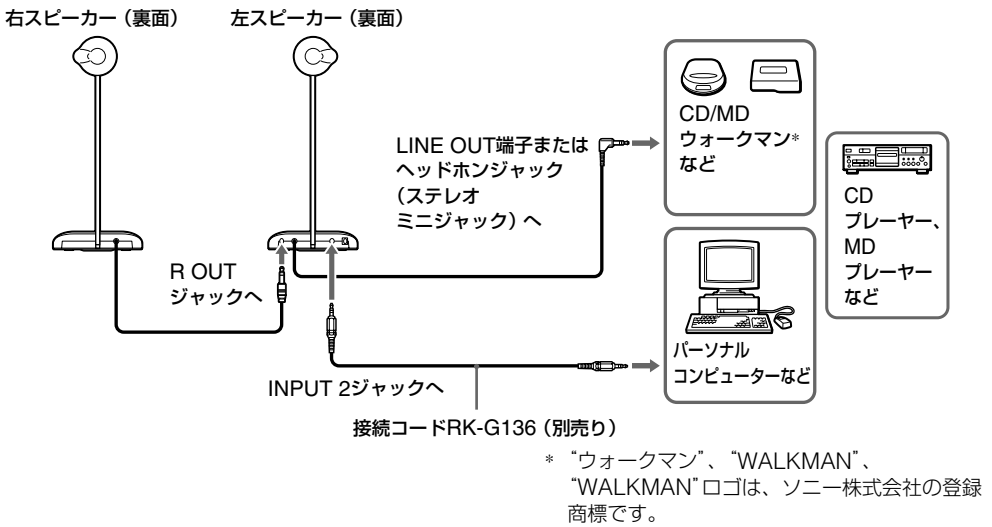


2 左スピーカーを、お聞きになる機器に接続する

ラジオなどのモノラルジャックにつないだときは、左スピーカーからしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプターPC-236MSを使うと左右のスピーカーから音が出ます。

標準タイプのヘッドホンジャック(カセットデッキなど)につなぐには別売りのプラグアダプターPC-234S、または接続コードRK-G138をお使いください。

- ご注意
- INPUT1とINPUT2の入力切換えは、接続した機器のON、OFFで行なってください。
 - ヘッドホンジャックがLINE OUT端子を兼用している機器に接続した場合は、接続機器の出力をLINE OUT出力に設定することで、より高音質でお楽しみいただけます。出力設定の操作について詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。



使いかた

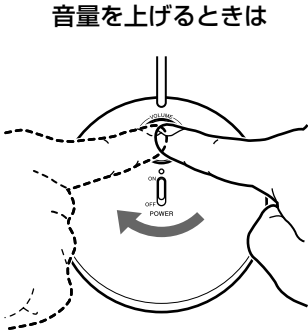
突然大きな音が出て耳を痛めないように、本機のVOLUMEダイヤルでスピーカーの音量を最小にしてください。また、接続した機器の音量も下げておきます。

- 1 POWERスイッチをONにする。
- POWERランプが点灯します。

- 2 接続した機器を再生する。
- 本機のスピーカーの音量を調節するときは、左記のイラストのようにVOLUMEダイヤルを指で押さえて、お好みの音量になるように回してください。聞き終わったら、接続した機器のPOWERスイッチをOFFにしてください。

- 3 使用後はPOWERスイッチをOFFにする。
- POWERランプが消灯します。

- ご注意
- ラジオまたはチューナーを内蔵した機器に接続した場合、ラジオ放送が受信できなかったり、感度が大幅に低下する場合があります。
 - ウォークマンなどのバスブースト機能は解除してください。ひずみの原因になることがあります。



故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
音が割れる、またはノイズが出る	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げる。
	接続した機器のバスブースト機能を使用している。	バスブースト機能を解除する。
	接続した機器のヘッドホンジャックに接続している。	接続した機器にLINE OUT端子がある時は、LINE OUT端子に接続する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	入力コードを確実に接続する。
音が小さい、または音が出ない	テレビに近すぎる所に設置されている。	テレビから離して設置する。
	POWERスイッチがOFFになっている。	POWERスイッチをONにする。
	VOLUMEダイヤルが最小に絞られている。	VOLUMEダイヤルで調節する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	入力コードを確実に接続する。
POWERランプがちらつく	入力信号が小さすぎる。	ヘッドホンジャックに接続した場合は、接続した機器の音量を上げる。
	音量を上げたときにPOWERランプがちらつくことがありますが、故障ではありません。	

保証書とアフターサービス

- 保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
 - 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
 - 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル0120-333-020	フリーダイヤル0120-222-330
携帯電話・PHS一部のIP電話0466-31-2511	携帯電話・PHS一部のIP電話0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	

FAX (共通) 0120-333-389

↓

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1